

2021年第1回ABAC会議ニュースリリース【仮訳】

2021年2月9日

人、場所、繁栄：アジア太平洋地域のビジネス界が行動を呼びかけ

アジア太平洋 21 カ国・地域のビジネス界の代表が今週バーチャルにて会合を開き、COVID-19 パンデミックや地域経済の再建にいかにか共に取り組んでいくのか議論を行った。

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC: APEC Business Advisory Council) のレイチェル・タウレレイ議長は、「われわれはこの 100 年に一度の危機に直面する中で、共に取り組む決意がわれわれの強みであると考えている」と述べた。

「公衆衛生の回復、国境の再開、景気回復の安定化、より公平な社会の達成など、現在の逆境を克服するためには、建設的で創造的で、とりわけ協力的なアプローチが不可欠である」とタウレレイ議長は付け加えた。

「この種の協調的思考の必要性は、ワクチン輸出制限などの不安材料によって鮮烈にもたらされた。この危機の初めからそうであるように、われわれの**誰か**が脆弱であれば、われわれ**全員**が脆弱なままである」と、タウレレイ議長は警告した。

タウレレイ議長は、ニュージーランドのジャシンダ・アーダーン首相の演説で幕を開けた 2021 年の第 1 回 ABAC 会議の後にコメントした。

「今年の ABAC のテーマは『人、場所、繁栄 (英語: People, Place, Prosperity、マオリ語: tangata, taiao, me te taurikura)』である。これら 3 つの要素は、われわれが暮らしたい社会を作り出すために不可欠である。」

「すべての**人**にとっての包摂がわれわれの目指すところである。したがって、われわれは COVID-19 のワクチン、必需品、食糧供給にすべての人がアクセスを確保する方法に取り組んでいる。また、中小企業が公正な競争条件のもとでいかに活動し、女性と先住民の成功にどう力を与えるかということも重要である。」

「**場所**は、まさにわれわれの地球を守ることである。われわれは気候変動対策を先導することを熱望している。われわれは、再生可能エネルギーの促進、イノベーションの推進、環境に悪影響を及ぼす補助金からの脱却を通じて、低炭素経済への移行を加速する方法を模索していこう」とタウレレイ議長は説明した。

「特に 2020 年の大きな痛手の後、**繁栄**した地域を達成するには、最も基礎となる APEC の目標である自由で開かれた市場が必要である。つまり、シームレスなアジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP : Free Trade Area of the Asia Pacific) を構築し、世界貿易機関 (WTO : World Trade Organisation) を支持し、地域の経済成長を復活させる国境の再開や旅行の回復など、サプライチェーンの機能と貿易の流れを主導する取り組みを行うことである。」

上述の取り組みの全てを強く支えるのがデジタル経済である、と議長は指摘した。「デジタルツールは、レジリエンス、持続可能性、包摂の基礎をなすものである。」とレイチェル・タウレイ議長は述べた。「人工知能などの最先端技術はさらに大きな機会を生み出すことができるが、その可能性を実現するためには信頼できる相互運用可能な環境が必要である。」

タウレイ議長は、昨年末に APEC 首脳が合意した APEC プトラジャヤ・ビジョンは行動の必要性を示していると指摘した。

「パンデミックにもかかわらず、あるいはパンデミックにより、われわれは、今年は考えられる最高の野心を抱いている。われわれは、変わることなくして COVID-19 から抜け出すことはできないが、同時に変わらないことを望むべきでもない。ビジョンは、2040 年までに、開かれた、ダイナミックで、強靱かつ平和なアジア太平洋共同体とすることを求めている。そこに至る道乗りは平坦ではない。しかし、ビジネスの本分は問題を解決することであり、ABAC は挑戦への準備ができている」とタウレイ議長は締めくくった。

以上